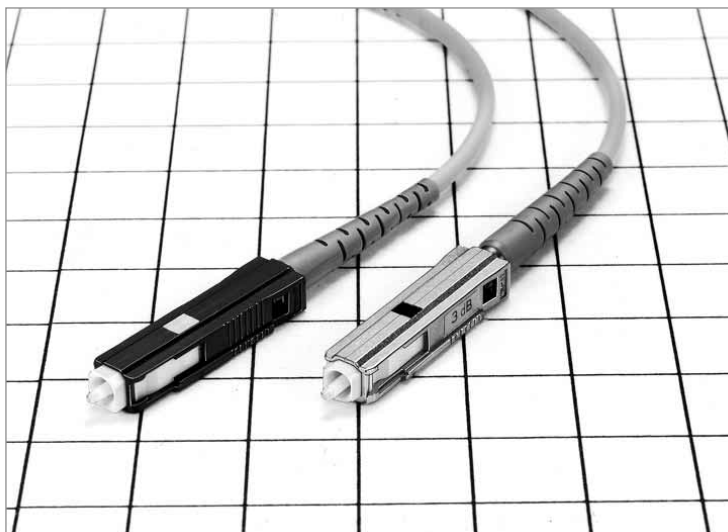
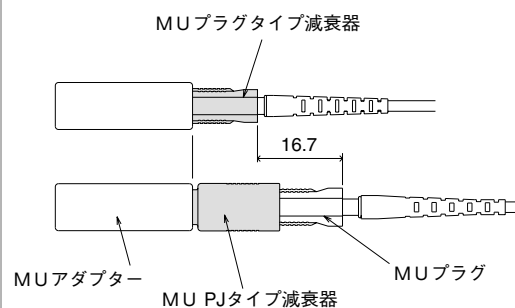


MU形 プラグタイプ 光固定減衰器



シンプルな実装(省スペース化)を実現



図①

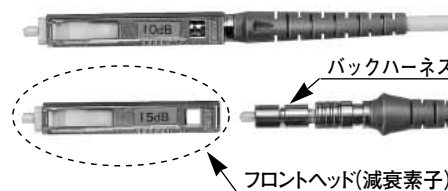
■特長

1. ハイパワータイプ (最大許容電力100mW) です。
2. シンプルな実装 (省スペース化) を実現
本減衰器はプラグに内蔵することにより、プラグ=アダプタープラグというシンプルな実装を実現しています。これにより、従来の中継型減衰器に比べコネクタを一個減らすと共に、省スペース化を実現しています。中継型減衰器使用時より、奥行き方向が16.5mm短くなります。(図①をご参照ください。)
3. 減衰量の変更が容易
減衰素子の交換が簡単にできるため、減衰量の変更が容易です。減衰量バリエーションは0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,12.5,15,17.5,20dB対応の15種類があります(写真①をご参照ください。)
4. 多連実装が可能
多心アダプタのピッチ4.5mmへの実装が可能のため、MUコネクタとの併用ができます。
(写真②をご参照ください。)
また、アダプタを並列して使用する場合、本減衰器はMUプラグと同一形状のため隙間が大きくとれ、MUプラグ用着脱工具を使用しての挿抜が可能です。(写真③をご参照ください。)
5. 耐曲げモーメント特性が優れています。
6. その他各種減衰量、反射減衰量及びファイバ等もご相談に応じます。

■用途

光ファイバ通信網のパワーレベル調整用としてご使用下さい。

減衰量の変更が容易

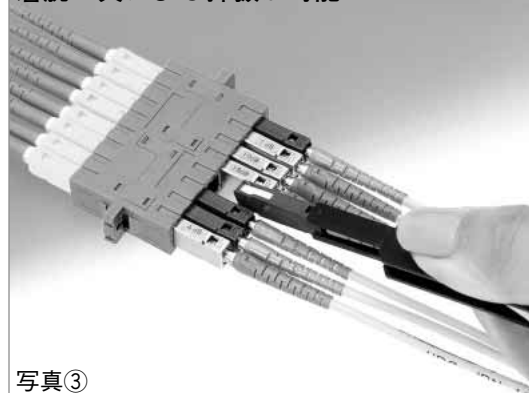


写真①



写真②

着脱工具による挿抜が可能



写真③

製品規格

定 格	使用温度範囲	-25℃～70℃	保存温度範囲	-25℃～70℃
	許容電力	100mW	適合ケーブル	SM

項 目		試験方法 (JIS C 5961)	規格
光学的性能	反射減衰量	下記 各波長範囲の任意の1点にて測定する。 1310±30nm、1550±30nm	40dB以上 (AdPC)
	減衰量		各減衰量公差(次ページ)をご参照ください
機械的性能	結合力及び離脱力	コネクタ相互間を軸方向に結合、離脱し測定	結合力12.5N以下 離脱力12.5N以下
	アダプタのゲージ保持力	φ1.249±0.0005mmのジルコニアゲージ	ジルコニア 1～2.5N
	緑り返し動作	コネクタ着脱500回、減衰素子着脱50回	①試験後減衰量の規格を満足すること ②破損、ひび、部品の緩みがないこと
	耐震性	振動数範囲10～55Hz、3方向各2時間	
耐衝撃性	加速度981m/s ² 3軸両方向各3回 (計18回)		
耐湿性 (温湿度サイクル)	温度-10℃～+65℃湿度90～96% 10サイクル		
環境的性能	温度サイクル	温度-25℃～+70℃100サイクル	著しい腐食がないこと
	耐熱性	温度+85℃中に500時間放置	
	耐寒性	温度-25℃中に500時間放置	
	塩水噴霧	濃度5%の塩水噴霧中に48時間放置	

材質

部品名	材質
外装	亜鉛合金
フェルール	ジルコニア
割スリーブ	ジルコニア

製品番号の構成 (フロントヘッド)

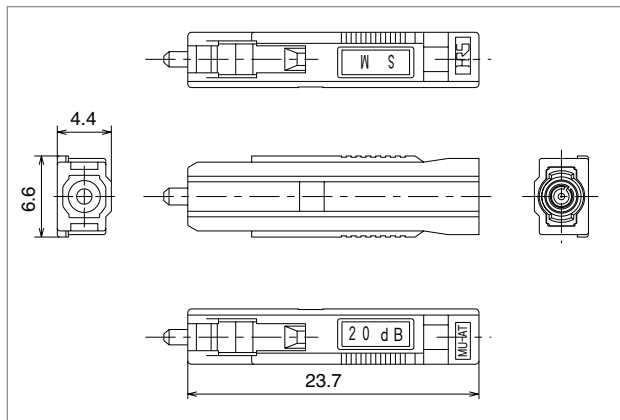
HMU - PAT - FH - K 1 01

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① シリーズ名	: JIS C 5983 (F14) に適合
② プラグタイプアッテネータを表す	
③ フロントヘッド (減衰素子) を表す記号	
④ 研磨種類	: K…AdPC
⑤ 適合光ファイバ	: 1…SM
⑥ 減衰量	: 00…0dB (スルー) : 01…減衰量 (dB)

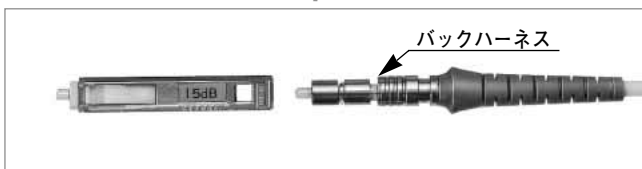
本製品は単体ではご利用になれません。次ページのバックハーネスと組合わせてご使用下さい。

■プラグタイプ 光固定減衰器 (フロントヘッド)

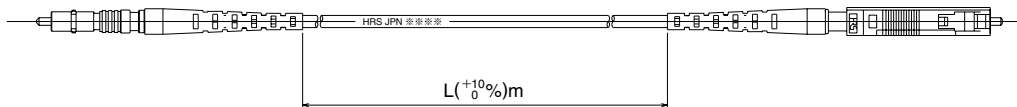


製品番号	HRS No.	減衰量	減衰量公差	反射減衰量	使用波長	割スリーブ仕様	適合ファイバ	RoHS
HMU-PAT-FH-K100(40)	CL827-0001-8-40	0 dB	0.5dB以下	≥40dB	1310nm 1550nm	ジルコニア	SM	○
HMU-PAT-FH-K101(40)	CL827-0002-0-40	1 dB	±0.5dB					
HMU-PAT-FH-K102(40)	CL827-0003-3-40	2 dB	±0.8dB					
HMU-PAT-FH-K103(40)	CL827-0004-6-40	3 dB						
HMU-PAT-FH-K104(40)	CL827-0005-9-40	4 dB						
HMU-PAT-FH-K105(40)	CL827-0006-1-40	5 dB						
HMU-PAT-FH-K106(40)	CL827-0007-4-40	6 dB	±1dB					
HMU-PAT-FH-K107(40)	CL827-0011-1-40	7 dB						
HMU-PAT-FH-K108(40)	CL827-0012-4-40	8 dB						
HMU-PAT-FH-K109(40)	CL827-0013-7-40	9 dB	±1.2dB					
HMU-PAT-FH-K110(40)	CL827-0008-7-40	10 dB						
HMU-PAT-FH-K112(40)	CL827-0014-0-40	12.5dB						
HMU-PAT-FH-K115(40)	CL827-0009-0-40	15 dB						
HMU-PAT-FH-K117(40)	CL827-0015-2-40	17.5dB	±10% (dB)					
HMU-PAT-FH-K120(40)	CL827-0010-9-40	20 dB						

■バックハーネス (φ2mm光ケーブル仕様)



バックハーネスは、弊社にてアセンブリを承っております。
 ハーネス仕様については、相手側コネクタ種類、ハーネス長さをご指定の上、弊社営業担当までご連絡ください。



■製品番号の構成 (バックハーネス)

HMU - PAT
BH
101
K
Q
-
L


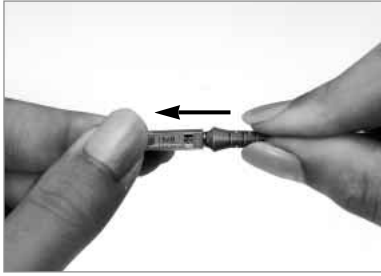
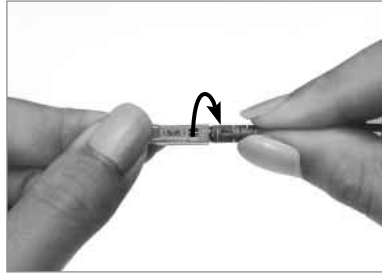
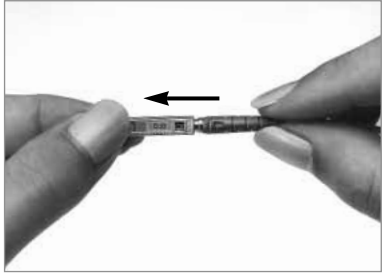
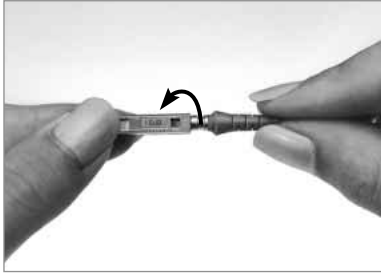
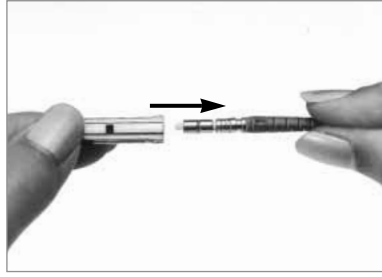
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦

① シリーズ名	⑤ 研磨種類 K : AdPC
② プラグタイプアッテネータを表す	⑥ 適合ファイバコード (注) Q : SM-9.5/125、φ2mm 外皮色 : 黄色
③ バックハーネスを表す記号	⑦ ハーネス長を表す 単位 : メートル
④ 他方コネクタを表す記号 (注) 011 : FCコネクタ、φ2mmコード 04G : SCコネクタ、φ2mmコード 101 : MUコネクタ、φ2mmコード	

(注) 代表例です。適合ケーブル径やブーツの種類により異なります。

ハーネス仕様については、相手側コネクタ種類、ハーネス長さをご指定の上、弊社営業担当までご連絡下さい。

◆減衰器 装着抜去手順

装着手順		
		
<p>①バックハーネス側のフード三角マーク部を減衰器の嵌合確認マーキング(黒色)の方向に合わせます。</p>	<p>②バックハーネスを減衰器に挿入します。</p>	<p>③バックハーネスを減衰器側に押しながら回転させ、抜け防止を行います。(回転後は、フードの三角マーク部は減衰器ラベルと同じ向きになります。)</p>
抜去手順		
		
<p>①バックハーネスを減衰器側に押しながら、</p>	<p>②バックハーネスを回転させロックを解除します。(解除後は、フードの三角マーク部が、減衰器の嵌合確認マーキング(黒色)の向きと同じになります。)</p>	<p>③バックハーネスを減衰器から抜去します。</p>

ご注意：

コネクタとの嵌合前、及び減衰量の交換時には、減衰器後端を含むフェルール端面の清掃を実施して下さい。清掃が不十分な場合、光ファイバ端面にゴミや傷が付き、光学性能劣化が生じるおそれがあると共に、特に高入力時には発煙、発火のおそれがあります。

SC

FC

MU

光コネクタ付ケーブル

防水多極コネクタ

スプリッタ

減衰器

終端器